

世界の鼓動

「イスラム差別やめよ」

日系人たちの
勇気を映画化

9・11のテロの後、米
国で事件と無関係のイス
ラム教徒への差別や犯罪
が多発した。「歴史を繰
り返すな」と立ち上がった



ピーぷる

たのは、第2次大戦で米
国の強制収容所に入れら
れた日系人たち。抗議
デモなど、その活動を追
ったドキュメンタリー映
画を制作したサンフラン
シスコ在住のグラフィッ
クデザイナー、リナ・ホ
シノさん(36)が、上映会
に参加するため来日中

だ。
約30分の作品で題は
「コート・イン・ビトイ
ーン(国と国のはさま
で)」。収容所の映像や
日系1世のインタビュ
も交え、60年の歳月を隔
て、ともに敵と見なされ
迫害された人々の悲劇と
連帯を描く。

「モスクが焼かれ、自
分にも危害が及びかねな
いの、声を上げた日系
人の勇気を記録しなかつ
た」とリナさん。自身は
日本人の父と台湾人の母
を持つ。日本のポランテ
ィア団体「Rooterb
b」(ホームページwww
.rooterb.org)の

招きで来日。全国12カ所
の上映・対話集会に参加
した。
「在日外国人から差別
の実態を聞き、驚いた。
多くの日本人が映画を見
て、自分を被害者の身に
置き換えて考えてもらい
たい」

(平山亜理)

朝日新聞

(夕刊)